

令和7年度 井原市がんばる地域応援補助金第1次採択事業一覧

	地 区	事業名	事業内容	人口増を 目指した事業	事業計画額 (円)	採択額 (円)
1	西江原地区 まちづくり 協議会 計110万円 (うち人口増 20万円)	高齢者 元気アップ事業 (継続)	高齢者グループが互いの学習活動に取り組む「甲山はつらつ学園」では、学園生(高齢者)対象だけでなく、児童のふるさと学習支援や昔遊びなど郷土の歴史文化の伝承のほか、まちづくり行事でのコース活動、先進地視察交流等、学園生が主体的に企画し実施することで、次代を担う町民へ伝承するとともに、自らの生きがい創造と西江原地区の活性化、健康寿命の長い元気なまちづくりを目指す。		340,000	300,000
2		雄神川流域の 自然と環境を 保護する事業 (継続)	雄神川流域の環境保護と地域の連携と活性化を目指すため、名勝「道祖溪」から雄神川流域の住民と協力して、「ほたるの郷」周辺の川辺の草刈、川土手への花の球根の植栽、蛍の鑑賞会、蛍の幼虫の放流・育成・保護活動、「冬蛍」と称したイルミネーション装飾、地域行事と連携したイベント等を実施する。また、地元小学生を対象に、道祖溪等を探訪する事業を引き続き実施する。		300,000	300,000
3		ふるさとのレバを 探し活かす事業 (継続)	家庭で作られていた保存食等の食文化について、現役世代や子どもたちに伝承するため、「ひな祭りを楽しむ会」や「味噌づくり教室」を実施する。また、「ふれあい市」を開催し、自作産物を販売することで、町民生産者の意欲的な生産への取組みと関係者組織の自主運営への発展、ならびに「西江原のレバ」となる作物の発掘を目指す。その他、伝統芸能「道祖踊り」と「西江原与一太鼓」の活動促進を図り、伝統行事の維持発展に繋げるほか、「甲山」や史跡を巡る複数の散策コースを設定し、町民の健康づくりへの活用を促す。		320,000	300,000
4		西江原子どもの森プ レーパーク事業 (継続、人口増)	西江原町戸倉に「西江原子どもの森プレーパーク」を整備し、幼児園や小学生児童も参加して、時季に合わせた協働活動(果実採集、水遊び、焼芋づくりなど)と、大人の指示でなく自ら興味をもって遊ぶ自由遊び活動(木や竹の伐採・加工、木登り、山登りなど)を実施し、子どもたちの生活リズムの改善と感性豊かな心身の成長を促進する。毎月第2日曜日が活動する。	○ (2)子育て支 援を図る事 業	220,000	200,000
5	芳井町 まちづくり 協議会 計150万円 (うち人口増 85万円)	地域の学び事業 (継続)	①まちづくり活動への理解や関心が高まることを目的に、年1回広報紙を発行し、全戸配布する。 ②芳井の文化を学び、魅力を発信・継承できる人材を育てることを目的に、「芳井風を編む会歴史講座」を開催し、生涯学習の一助とするとともに、文化資源の継承を図る。		280,000	280,000
6		子育て・福祉支援事業 (継続、一部人口増)	①子ども体験学習事業 子どもたちが市内の施設を訪れ、郷土の伝統行事や体験学習、地域の特産品などを身近に学ぶ機会を提供する。 ②小学生学習支援事業 夏季休暇中、小学生の絵画や習字等の学習支援を実施する。 ③青色防犯パトロール支援事業 児童・生徒の安全見守り活動を行い、登下校時の安心・安全を確保する。 ④後月くらぶ事業 高校生以下の子どもたちを対象に、芳井の自然・文化・地場企業などの魅力を学び、発信・継承できる人材を育成する。 ⑤福祉サービス検討事業 高齢者への簡単なボランティア活動等を行う福祉サービスについてアンケート調査結果や協力ボランティアの調査結果から実施可能な事業検討を行う。	○ (1)(2)(3)(4) (2)子育て支 援を図る事 業	380,000 (うち人口増 ①120,000 + ②50,000 + ③50,000 + ④150,000 = 370,000)	380,000 (うち人口増 ①120,000 + ②50,000 + ③50,000 + ④150,000 = 370,000)
7		防災対策事業 (継続)	まちづくり協議会の委員や芳井町民を対象に、防災対策研修会を開催し、避難に役立つ情報の入手方法や日頃からの備え、災害時の適切な判断や行動について学ぶ。		100,000	100,000

令和7年度 井原市がんばる地域応援補助金第1次採択事業一覧

	地 区	事業名	事業内容	人口増を目指した事業	事業計画額 (円)	採択額 (円)
8	芳井町 まちづくり 協議会 計150万円 (うち人口増 85万円)	ご当地愛醸成事業 (継続、人口増)	①芳井の夏祭り創造事業 芳井宵まつりで灯りの展示を行う団体の募集やまちづくりステージの設置を行い、多くの芳井町民が参加できる夏祭りを目指した企画運営を行う。 ②地域特産品ブランド化事業 「明治ごんぼう」をはじめとした赤土野菜の6次産業化を推進し、「郷土の宝」としての意識を共有し、さらなるブランド化を進めるため、展示販売や情報発信していく。また、ごんぼうイベントを通じて市外の参加者と交流を図る。 ③寿の森公園環境整備事業 継続して公園の整備・清掃・芝桜の補植を行い、マイパーク意識の高揚を図る。 ④天神峡の自然学習イベント「川の学校」事業 天神峡で「川の学校」を開催し、水中生物の観察、川の遊び方、川の漁具の学習、鮎などのつかみ取りを通して、小田川の豊かさを学び、仲間との協調性・連帯意識の向上を図る。 ⑤豊かな里山づくり事業 ヤギを耕作放棄地に放して除草と有害獣防御を行う。また、ヤギとのふれあいにより地区住民の癒し効果を高めるとともに、その様子を情報発信し、地域外からの観光目的の交流人口増を目指す。 ⑥三原渡り拍子マスコット愛称募集事業 三原渡り拍子は、岡山県重要無形民俗文化財に指定されている。三原渡り拍子保存会が作成したマスコットの愛称を小学生から募集することで、さらに関心を高めてもらい、保存継承を進めていく。	○ (4) (2)子育て支援を図る事業 (2)(5) (3)市外在住者との交流を図る事業	540,000 (うち人口増 220,000) ± 450,000 ± 530,000 =280,000)	540,000 (うち人口増 220,000) ± 450,000 ± 530,000 =280,000)
9		移住・定住対策事業 (継続、人口増)	空き家所有者へのアプローチ方法、活用までのマニュアル化、利活用者の募集などの課題解決に向け、不動産業者等の専門事業者と連携する方法について、調査、研究を行う。	○ (1)空き家対策及び移住者支援事業	50,000	50,000
10		賑わい創出事業 (継続、人口増)	交流人口、関係人口、定住人口の増を生み出す「賑わいの拠点づくり」に向けて、地域内の商工業事業者等と意見交換会や研修会を行う「商工業賑わい創出事業」、地域内の出荷組合や農業者団体等と意見交換や研修会を行う「農林業賑わい創出事業」を実施し、それぞれ知恵を出し合いながら、地域独自の新商品開発やブランド力の向上、ビジネスマッチングや労働力確保などに繋げていく。	○ (3)市外在住者との交流を図る事業	150,000	150,000
11	荏原地区 まちづくり 協議会 計150万円 (うち人口増 50万円)	子育てサポート事業 (継続、人口増)	①「土曜キッズ 広場アソボー」 幼児園児・小学生を対象に「遊びの先輩ボランティア」が、荏原の自然を活かし自分で遊び道具を作り思いっきり頭体心を動かして遊ぶことを手ほどきし、物作りの楽しさを伝え、地域の人や子ども同士で温かな人間関係を広げる。 ②「荏原っ子安全見守り隊 青色防犯パトロール隊」 児童・生徒の登下校時に、隊員(青パト)が4時間帯と4地域の巡視担当を決め、パトロールを実施し、安全見守りと地域防犯活動を行う。 ③「自学SPACE荏原」 定期考査前の中学生を対象に、ボランティアが荏原公民館で学習支援を行う。これにより地域の人との関係が育ち、地域行事への中学生ボランティア参加に繋げる。 ④「オール早雲の里ウォーキングデー」 地域内を巡るウォーキング大会を開催し、子どもたちに地区名・道筋・地形等を知る機会をつくり、地域に対する関心を持ち、荏原に愛着を持てる子どもを育む。 ⑤「郷土の先輩偉人早雲公」 当事業で作成した双六等を活用して、児童が遊びや絵話を通して郷土の偉人である北条早雲公が名君であったことや故郷思いであったことを理解し、誇りに思うことで、荏原への郷土愛を育むとともに、地域住民への波及効果を狙う。	○ (2)子育て支援を図る事業	500,000	500,000

令和7年度 井原市がんばる地域応援補助金第1次採択事業一覧

	地 区	事業名	事業内容	人口増を目指した事業	事業計画額 (円)	採択額 (円)
12	荏原地区 まちづくり 協議会 計150万円 (うち人口増 50万円)	高齢者支援部会事業 (継続)	「ふれあい広場」事業 高齢者等を対象に「集いの場づくり」「居場所づくり」として、公民館において食事の提供、専門家の出前講座、園児・児童との交流、娯楽活動等を実施し、生活支援と外出機会の場を提供する。		642,000	400,000
13		歴史継承振興事業 (継続)	北条早雲のPR事業と高越城址の整備・清掃を行うため、歴史講演会の開催や北条早雲ウォーキングコースへの案内板の設置、高越城址やウォーキングコース周辺の草刈りや清掃を実施し、地域住民の理解を得ながら、「北条五代大河ドラマ化」に対する意識の向上と機運の盛り上げりに繋げる。		350,000	350,000
14		早雲の里えばら 広報事業 (継続)	荏原地区の各団体の行事予定を広報誌(年3回発行)のほか、HP・Instagramにより広く地域内外に発信し、他地区からの参加、来訪者を増やし、荏原地区の更なる活性化・定住化を図る。		150,000	150,000
15		早雲の里えばら イベント事業 (継続)	地区民全員が参加できる下記イベントを消防団やPTAの若者が中心となって実施することにより、地区の一体感の盛り上げ活性化と世代交代のきっかけに繋げる。 ①早雲ビバードン(7月下旬) ②夏のイベント(8月上旬) 盆踊り花火などを検討。		100,000	100,000
16	いづえ地区 まちおこし 協議会 計150万円 (うち人口増 75万円)	いづえ総合活性化事業 (継続)	①花壇整備や公民館周りの美化活動、門松の製作を行い、地域の環境美化を目指す。 ②伝統的食文化研究事業では、子どもたちに味噌づくりを体験してもらうほか、毎月、古くから伝わる郷土食料理に親しみ、日々の食生活に関心を持ってもらう。 ③歴史研究会事業では、地域の歴史を伝承する講座や探訪会を開催し、出部の史跡を再発見する。 ④広報部会事業 「ふるさと出部」の発行(年4回)やInstagram、HP等で情報発信を行い、地区の一体感を醸成する。		490,000	390,000
17		いづえ未来活性化事業 (継続・人口増)	出部の地域づくりのために人口増(出生人口・移住人口・関係人口・交流人口)を模索するとともに、将来を担う子どもたちにとって明るく楽しいまちづくりを目指す。 ①ジョーアップ事業 いづえ加エとの連携イベントとして音楽ライブを実施するなど公民館外でのイベントの企画・実施 ②いづえ夏フェスタの開催 花火の打上げ、駅前広場等での夜店の出店 ③Teamキューピット(婚活支援) 婚活支援につながる出会いの場を提供するイベントの開催	○ (3)市外在住者との交流を図る事業	1,890,000	750,000
18		いづえ安心安全の まちづくり事業 (継続)	地域住民が安心安全に暮らせるために、地域住民の防災意識の向上を目指し、啓蒙活動や防災訓練を通じて、お互いの絆を深めつつ災害に強いまちづくりを目指す。 ①指定避難所開設訓練(小学校で年1回実施) ②黄色いハンカチを使用した防災訓練		360,000	360,000

令和7年度 井原市がんばる地域応援補助金第1次採択事業一覧

	地 区	事業名	事業内容	人口増を目指した事業	事業計画額 (円)	採択額 (円)
19	井原町まちづくりの会 計94万5千円	井原町伝承 夢口マン事業 (継続)	井原町の伝統文化である「鬼まつり」の伝承に関連した取り組みとして、絵ぶた・シャグマの制作、鬼面作り講座、鬼の着付け教室、鬼祭りの伝承についての人材養成講座、まちづくりのためのワークショップ等を開催することにより、町民同士の親睦や交流を図る場づくりと賑わいの創出を図る。		629,000	629,000
20		井原町 元気アップ事業 (継続)	ウォーキングのコース案内図やマップを基に改善を加え、年2回(春・秋)のウォーキング大会を開催する。コースになる小田川堤の環境整備にも取り組む。また、「ジーンズ音頭」「道中おどり」を定着、伝承するため高校生と協同し練習に取り組み、地域のイベント(桜まつり、盆踊り等)に参加し、仲間づくりや健康づくりにつなげる。		196,000	196,000
21		「ボードゲームで地域を繋ぐ！」多世代交流事業 (新規)	ボードゲームを使って、多世代交流をはかる。「井原ボードゲームの会(仮)」と称して、月1～2回程度、井原公民館にて実施予定。希望があれば、地区の年配者が集うサロンで講習も行う。参加者がゲームのルールや遊び方に慣れてくれば、大会やリーグ戦を開く等、参加者を楽しめる企画を実施予定。		120,000	120,000
22	青野地区 まちづくり 協議会 計130万円 (うち人口増 34万 5千円)	環境美化事業 (継続)	増加傾向にある荒廃地を減少させ、住みよいまちにするため、下記環境美化事業を行う。 ①年間を通して、沿道に花を植え付ける。地域の主要施設に花を配布し、施設を彩る。 ②地域で草刈り、支障木伐採が必要な場合には、ボランティア会員が対応し、伐採後の支障木等を有効活用する。		315,000	315,000
23		人財育成事業 (継続・人口増)	青野地区への移住定住者を増やし、葡萄栽培後継者の育成につなげるため、下記事業を実施する。 ①子どもたちを地域全体で見守り、子育て世代が安心して暮らせる地域にするため、子育て世代の手助けとなるような行事を行う。(リユースの会、科学教室等) ②地域産業である葡萄をPRするため、市内外から葡萄栽培体験希望者を募集し、栽培作業を体験することで興味を持ってもらう事業を実施する。	○ (2)子育て支援を図る事業 (3)市外在住者との交流を図る事業	745,000	345,000
24		魅力発信事業 (継続)	①マスコットキャラクター「あおっぴい」を中心としたイベントでのPR活動、学校・公民館・葡萄浪漫館との連携、お知らせくんやSNSを活用した広報活動、「あおっぴい」を使用したグッズ製作・販売、まちづくり先進地の視察研修を行い、地区内外に青野地区の魅力を浸透させるとともに、地域や会員間の一体感を創出する。 ②特産品としてのこんにゃくや里芋コロツケのほか、新たな特産品を開発するための勉強会を継続して実施し、地産地消を目的とした加工品づくりを行い、地域に根差した6次産業の活発化を目指す。		760,000	640,000

令和7年度 井原市がんばる地域応援補助金第1次採択事業一覧

	地 区	事業名	事業内容	人口増を目指した事業	事業計画額 (円)	採択額 (円)
25	野上地区 まちづくり 協議会 計73万 6千円 (うち人口増 25万 3千円)	「生活の足」 対策事業 (継続)	車の運転ができない高齢者に買い物を楽しんでもらうため、タクシー事業者を利用した買い物支援を行う。しかし、事業が継続できるほどの負担金が集まらず、補助金に依存した事業となっているため、事業は継続しながらも、公共交通やタクシー事業者に依存しない、住民による住民のための移送サービスを検討する。		633,000	483,000
26		のがみ・ティンク事業 (継続・人口増)	「野上地区まちづくりアクションプラン」の啓発と実効性を持たせるため、「寄合(よりあい)」を開催し、テーマを持った緩やかなネットワークや連帯感、仲間意識の醸成を図り、楽しみや生きがい等を発見する。 ①先進地との交流 ②昔から地域に伝わる「タレ」や「味噌」の作り方などを習得する「こだわり塾」の開催 ③HPによる野上地区の情報発信 ④広報誌「のがみタイムス」の作成	○ (3)市外在住者との交流を図る事業	268,000	253,000
27	大江 まちづくり 協議会 計140万円 (うち人口増 40万円)	大江三世代 平成の森事業 (継続)	地区住民が世代を超えて「平成の森」に集い、グランド・ゴルフ大会や花見会等のイベントを通じて、笑顔で楽しく暮らせる健康的なまちづくりを行う。 ①グランド・ゴルフ大会の開催 ②平成の森の環境整備		220,000	150,000
28		大江の歴史に 学ぼう事業 (継続)	大江町民が地元大江の歴史を学ぶことにより、郷土愛の醸成や町民相互の親睦を図る。 ①先人の業績や史跡等のついて、講演会や勉強会を開催 ②史跡の環境整備 ③史跡探訪ウォーキングの実施 ④小学生への啓発活動		100,000	90,000
29		賑わい創生事業 (継続)	観音マシエとガーリックフェスティバルを開催し、出会い・ひろがり・つながりの輪を育てるとともに、地区内外の人々と交流することにより地域活性化を図る。		250,000	220,000
30		地域安全事業 (継続)	災害時に地域住民が的確に判断し、安全な行動がとれるように、避難訓練を実施し、注意点等現状の把握と意識の向上を図る。		110,000	100,000
31		ローズバレー・I・O事業 (継続)	大江町民の憩いの場として親しまれる公園にするために、地域住民が町内にある相原公園の環境美化活動を行う。 ①相原池公園の管理 ②バラの植栽、遊歩道の整備 ③除草と水の管理		430,000	410,000
32		高齢者支援事業 (継続・人口増) <事業名変更>	大江町の人口増加を図るため、空き家対策事業を行うとともに、安心して暮らせる環境づくりを行うため、高齢者へのアンケート調査を実施する。 ①自治会長の協力を得て、空き家管理台帳を充実させるとともに、市の空き家バンクへの登録を促す。 ②近隣地区との合同勉強会の開催 ③お試し住宅の開設 ④高齢者アンケートにより、可能な事業の検討と計画・立案 ⑤ワンコインカフェの運営	○ (1)空き家対策及び移住者支援事業	420,000	400,000
33		いきいき菜園事業 (新規)	農業(米作は除く)を今一度見直し、小中学生及び地域住民の意識向上を目指すとともに、農作加工品の新商品開発と新規農作物への取り組む。 ①小中学生の植付・収穫体験会の実施 ②地域住民への共同農作業の呼びかけ ③新たな加工品の開発		35,000	30,000

令和7年度 井原市がんばる地域応援補助金第1次採択事業一覧

	地 区	事業名	事業内容	人口増を 目指した事業	事業計画額 (円)	採択額 (円)
34	いきいき 稲倉 まちづくり 協議会 計67万円	みんなでつなごう 笑顔の“わ”事業 (継続)	バンド演奏や踊りで地域の多くの方々や 小学校児童との交流を広げ、より活力ある 笑顔の絶えないまちづくりを目指す。ま た、演奏、踊りの練習のほか、かかしコンテスト への出展やイベントへの参加を通じて、大人 から子どもまでコミュニケーションを深める場を創 出する。		200,000	200,000
35		キラキラ笑顔で つどえる事業 (継続)	①毎月1回、地元の新鮮野菜等を販売する 朝市を実施し、地域の多くの人を集め、賑 わいのある元気あるまちづくりを目指す。 なお、小学生にお手伝い隊員を依頼し、一 緒に朝市を盛り上げる。 ②小学生から高齢者で花畑や花壇の整備、 育苗管理を行い、地域の施設等を花いっば いにして地域の緑化に取り組む。		400,000	300,000
36		収穫祭で元気いなくら 事業(継続) <事業名変更>	稲倉産のお米、もち米やささげなどを活用 する収穫祭を開催し、餅つき大会やいろい ろな行事を行い、地域の活性化と地域民の 繋がりを図る。		80,000	80,000
37		魅力的環境再生事業 (新規)	公共施設、古墳などの文化財周辺や通学路 等の道路(別の補助対象箇所を除く)の草 刈りを春期と秋期の年2回実施し、地域の 景観を美化し、地域の魅力の向上を図る。 ・年2回実施 春期、秋期 ・小学校PTA奉仕作業の協力		90,000	90,000
38	木之子地区 振興協議会 計37万円	木之子町内 活性化事業 (継続)	定着してきた「きのこふれあい朝市」を継 続して年6回実施し、軽トラでの出店を中心 に、町内の個人や団体が気軽に出店しても らい、高齢者の生きがい対策や地域住民間 のコミュニケーションを深める場として一層の充実 を図る。 馬越恭平をテーマとしたビール漬け生産及び 新たな特産品を検討する。		315,000	200,000
39		きのこふれあい 安心・安全運動 (継続)	①地区内の県道に、通行者の安全意識の 向上を図るため、のぼり旗を設置する。 ②年2回の全国交通安全運動期間中に警 察署の協力を得て、街頭での交通安全運動 を実施する。 ③お知らせくんやチラシ等で、交通安全を呼 び掛ける。 ④高齢者が悪徳商法などの消費者被害に 合わないよう、注意喚起を行うチラシ等を 作成して配布する。		170,000	170,000
40	県の里 まちづくり 推進協議会 計60万円	広報紙発行事業 (継続)	総合的なまちづくり情報を地域住民に提 供するため、まち協、公民館、社協、自治連 合協議会、防災会の5団体で連携して、広 報紙を年3回発行する。また、HPやフェイス ブック等を活用し、各世代や地域に情報発信 することで、他地区との交流を深め、井原 市のまちづくり全体の活性化を目指す。		252,000	200,000
41		ふるさと 便利屋さん事業 (継続)	高齢者や一人暮らし世帯が日常生活を送 る上で困難な作業を地域住民が肩代わり する取り組み。窓口は公民館が行い、地域 へ周知する。なお、県主社協が実施するボ ランティアセンター(フンコイン事業)と協力 しあい、2層での取り組みとして事業を進 めていく。		513,000	300,000
42		高齢者等スマートフォ ン活用講座(教室) (新規)	初心者の方でも分かり易い、実践的な活用 講座(教室)を開催し、人にやさしいデジタ ル社会を目指す。 ①講座の開催 基本的な解説から、具体的な操作方法を実 践をととして理解する。(防災・防犯、井原 市の公式ライン等) ②教室の開催(毎週日曜日の午後) スマートフォンを日常使う中で、判らないこ とを相談する場として、高齢者相互あるい は若い世代が高齢者に教えることや、高齢 者が何でも相談したり、教え合うことがで きる場を提供する。		123,000	100,000

合計	11地区	42事業	14,536,000	11,621,000
(うち人口増)	7地区	10事業	4,893,000	3,298,000